

## 堺市指定管理者評価表

( 評価対象期間 : 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで )

## 1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
大仙公園日本庭園	
(2) 施設の設置目的	
市民に憩いの場を提供するとともに文化を創造し、もって公共の福祉の増進に資するため	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 大仙公園事務所	
(4) 指定管理者名	
南海・大阪造園共同企業体 (南海造園土木株式会社、大阪造園土木株式会社)	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 入園料及び和室使用料の徴収、入場者の応接、券売業務、自主事業の計画・実施、使用許可事務</li><li>・ 園内の施設・設備・樹木の維持管理に必要な維持管理・保守点検・清掃・警備業務等</li><li>・ 大規模な改修及び建築物の躯体部分の補修を除いた園内施設・設備等の補修等</li></ul>	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
産業・基盤施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
対象者特定無	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

## 2 管理運営状況

## (1) 適正な管理運営の確保

## ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の日常点検を徹底し、異常箇所を発見した場合は監督員と協議の上、早期修繕の対応を行っている。</li> <li>・広報等に使用する写真は個人が特定されないよう、顔が映っていないものやはっきりと分からないものを採用し、個人情報保護に努めている。</li> </ul>
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置について、過去の実績を考慮し、樹木管理や清掃業務など適切な配置を行っている。</li> <li>・植栽管理について、来園者に美しい庭園を楽しんでもらえるよう、各植物の特性を配慮した植栽管理を行っている。</li> </ul>
施設の設置目的に沿った事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、夜間ライトアップイベントなど、広く市民の方々に利用されるイベントを行った。</li> </ul>
その他特筆すべき取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の取組として、来園者同士のソーシャルディスタンスの確保や定期的な園内放送による注意喚起などを行っている。</li> </ul>

## イ 市による状況分析

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園内の手すりの消毒などを徹底し、来園者の受入体制を整えた。
- ・質の高い植栽管理、日常点検で発見した施設の不具合に対する早期対応等、利用者満足度の向上につながる適正な管理を行った。

## (2) 利用者サービスの向上

## ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	南海・田中・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体
利用者数(単位:人)	87,752	86,371	72,131	81,843	—
稼働率(単位:%)	—	—	—	—	—
利用者満足度(単位:%)	81.0	86.0	86.0	89.0	—

## イ 取組状況

サービス向上、利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業で、期間限定でかき氷などの飲食メニューを追加し、市民サービス向上を図った。</li> </ul>
意見・苦情・要望等への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が常に利用者の意見を受け付けることができる体制をとっている。</li> <li>・利用者アンケート聴取を行い、要望等の意見収集を行った。収集した意見は精査し、可能な範囲で反映した。</li> </ul>
その他特筆すべき取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施設の認知度向上のため、SNSやHPなどを活用し、多くの人の目に触れる機会を増やした。</li> </ul>

## ウ 市による状況分析

- ・新型コロナウイルスの影響で施設の供用を停止したが、利用者数が増加している。
- ・積極的な広報活動を行っているものの、アンケートによる広報活動の項目の利用者満足度が低い。SNSの投稿頻度やHPのレイアウトの工夫など、引き続き改善策を検討していく必要がある。

## 2 管理運営状況

## (3) 収支

## ア 収支状況

(単位:円)

## ■ 指定管理業務

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
指定管理者名		南海・田中・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体
収入	指定管理料	48,400,000	52,372,986	54,671,832	52,124,166	52,124,000
	利用料金	18,871,727	18,893,942	15,342,651	16,782,330	19,500,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	6,582,664	6,698,698	5,195,292	5,178,751	7,000,000
合計		73,854,391	77,965,626	75,209,775	74,085,247	78,624,000
支出	人件費	28,650,000	30,737,400	30,562,750	30,495,045	33,675,000
	委託料	10,904,549	12,273,698	12,005,829	12,703,173	13,010,000
	総支出額に占める委託料の割合	16.0%	16.7%	16.3%	17.9%	16.5%
	修繕費	1,805,544	4,794,507	2,402,400	3,333,000	3,000,000
	光熱水費	7,281,357	5,411,924	7,456,287	5,149,434	6,570,000
	その他	19,303,601	20,339,915	21,010,960	19,466,925	22,369,000
合計		67,945,051	73,557,444	73,438,226	71,147,577	78,624,000
収支差額		5,909,340	4,408,182	1,771,549	2,937,670	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

## ■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収入	1,163,797	2,649,804	463,318	1,230,514	2,443,000
支出	3,682,715	7,192,705	756,696	1,407,808	4,171,000
収支差額	-2,518,918	-4,542,901	-293,378	-177,294	-1,728,000
(市への納付金の額)	—	—	—	—	—

## イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	・節水や節電に努め、物品購入においてはいくつかの製品の価格を比較し安価のものを選ぶなど工夫を行っている。
------------	--

## ウ 市による状況分析

・自主事業における収支状況について、ほとんどの自主事業が赤字を前提とした市民サービスの一環として実施しているため、収支差額がマイナスになる傾向があるが、令和3年度は令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症による影響で多くの自主事業が中止になったため、収支差額のマイナス幅が小さくなっている。

## 3 目標管理、総合評価

## (1) 目標管理

## ア 仕様書で定める目標の達成状況

## ■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者数	9万人以上/年	81,843人
自主事業開催回数	10回以上/年	13回

## ■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
アンケート調査における利用者の満足度(大変良い、良いの合計)	90%以上/年	89%

## ■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	1500万円以上/年	16,782,330円

## イ 市による状況分析

利用者数は、施設の供用を停止した期間があった影響により目標に達しなかった。アンケート調査では、庭園の手入れと従業員対応の項目がともに95%以上であり適切な管理を行えていることが分かる。一方で広報活動や情報提供に関する項目が低いため、全体の利用者満足度が低くなっている。利用料金収入については、新型コロナウイルスの影響を受けながらも目標を達成している。

## (2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	A	B
評価の理由	4/25から6/20までの間、緊急事態宣言により臨時休園していたにもかかわらず利用料金等収入については目標を達成した。利用者数においては臨時休園が無ければ目標を達成できたと考えられる。また、利用者の満足度に関しても目標をほぼ達成できたといえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスによる休園期間があったにもかかわらず、来園者数は市が設定している目標の9割に達した。また、自主事業については感染症対策を行い、可能な限り実施することができた。</li> <li>広報活動に関する利用者満足度が例年と同様に低く、改善できたとはいえない。</li> </ul>
今後の取組	コロナ禍でしばらく実施できていなかった演奏会などのイベントを段階的に行いたいと考えている。引き続きSNS等を活用し、情報提供に関する利用者満足度の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス対策に努めつつ、新規利用者獲得や利用者の満足度向上に繋がる取組を期待する。</li> <li>SNS等の広報活動について、効果的な方法を検討し、実施することを期待する。</li> </ul>

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの